

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	和光市児童発達支援センターやまぼうし（放課後デイサービス）		
○保護者評価実施期間	7年 2月 1日		7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	7年 2月 20日		7年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員がなるべくマンツーマンに近い職員配置で、個々のレベルに合わせた支援ができるよう努力しています。	安全に気を付けて送迎を行っています。また、送迎時に保護者様と顔を合わせてお子さんの様子や成長について情報共有をすることで、ご家庭とのコミュニケーションの機会とし、よりよい支援に繋がっています	職員の年間研修計画を立て、スキルアップのための学習機会の確保をさらに充実させていきたいと考えています。
2	利用していただいているお子様の多くが通う小牧特別支援学校から車で5分と近い為、移動時間が短く、事業所での活動時間を長く確保できています。また、隣に消防署があるほか、周辺の施設は災害時の避難所でもある為、もしもの時にも安心できる立地条件であると思います。	外遊びの時間や散歩の時間など、子どもたちがのびのびと楽しく1日を過ごせるようにつとめています。	継続して求人かけることによる当日のスタッフ人員の確保をより充実させていきたいと考えています。
3	医療的ケアが必要な子どもや重い障がい特性がある子ども達をチームで支えていく為、職員の意思疎通や連携について看護師など専門職も交えて話し合いの時間を豊富に設けて取り組んでいます。	卒後の事を踏まえて基本的な挨拶ができるように支援しています。発語がなくてもジェスチャー等で人に挨拶が出来るように生活力を身につけてほしいと考え、毎日のミーティングで話し合い支援計画を職員みんなで考えています。	療育のサポートをするアプリを導入しており、日々の業務効率を改善させるためにもICT化を進めていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども達の年齢、障害特性に対して、室内の狭さや設備の充実に課題があると考えています。	保護者会やペアレントとレーニングなど、保護者との継続した交流の機会が十分ではない。	事業所のたよりなどを定期的に発行するようにして、保護者向けの情報を充実させる。年間を通して保護者会などを企画して、密に連携がとれるようにしていきたい。
2	地域の子供、他の放課後等デイサービスとの関わりが薄いと考えているため、今後は交流のイベントなどを増やしていきたいと考えています。	他の放課後等デイサービスや児童発達支援センターとの連携の機会をなかなか持てず、地域の子供達と関わる機会が十分につけていない。	他の放課後等デイサービスとの交流イベントを継続的に行うようにする。中核的支援機能充実の一環としても他の事業者などとの連携については充実させていきたい。
3	保護者アンケートの結果から、事業所とご家庭の連絡手段に課題があることが考えられます。	職員の高齢化が進んでおり、PC・タブレットの使える職員数が少なくなっています。ICT化が進む中、Word、Excel、PowerPointのPCツールやタブレット等の使える職員に仕事が集中してしまう状況にあります。	施設の広さや設備についての課題があるため、より安心・快適な環境を用意するために施設の増改築を検討している。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		和光市児童発達支援センターやまぼうし（放課後等デイサービス）				公表日	2025年3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			子ども達の発達に合わせた対応ができるように努めてまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			適宜人手不足については求人しながら適切な人員配置に努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		なるべく視覚から受ける刺激を減らすような環境にしております。飛び出し防止のための各部屋の施錠など安全確保に努めています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日常清掃に気をつけ、活動に合わせた環境の確保に努めております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要な場面では静養室を個別で使用できるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		子ども達の様子や生活面での課題に対して職員間で毎日情報交換をおこなっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今後、第三者による外部評価を実施していけるよう努めてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		内部、外部の研修に参加する機会を設けています		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		適切に作成、公表をおこなっております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		定期的のアセスメント、面談を行い意向を支援会議で共有、分析し、その内容に基づいて計画を作成しています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画の作成にあたっては、職員とのケース会議を行って最善の支援に向けた検討をおこなっています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		5領域に分類した本人支援を中心に、必要に応じた家族支援、地域支援等の内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		児童の様子や成長過程を捉えて、適切にサポートをしています。プログラムが固定化しないように工夫をしています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			毎日のミーティングを行い、児童の様々な行動・様子に対して、職員間の情報共有も行なっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			その日の児童の様子、個別支援目標を中心に記録とミーティングを行なっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			6ヶ月に1度のサービス計画の見直しのためにケース会議を行なっています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			送迎時のやりとりや予定等の確認、情報交換をおこなっております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			学校の卒業にあたっては、相談支援事業所に情報提供をおこなっています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			今後他の発達支援センターと情報交換・連携をおこなっていきたく考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			今後交流の機会を持てるよう努力してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			まずは当施設の職員がペアレント・トレーニングなどの研修を受け、研修機会の提供ができる体制を整えてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			契約時、モニタリング時などに丁寧な説明を心がけております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			利用開始時に子どもや家族の意向を確認しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			支援計画を示しながら説明し、修正点があれば修正したうえで保護者の同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			相談支援員や関係機関と連携し、必要な助言・支援を心がけています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後、保護者会の定期的な開催をするなどして、保護者同士の交流、きょうだい同士の機会などを設けてまいりたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設置、周知し、苦情があった際は迅速かつ適切な対応を心がけています。職員間でも情報共有し必要に応じて体制の見直しを全員で考えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		定期的な通信の発行などを通じて避難訓練や行事の情報を発信してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規定に則り管理運営しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもとそのコミュニケーションは絵、写真、文字など、その子に合ったツールを使用して、意思の疎通や情報伝達を状況に合わせて対応しております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、地域住民の方を対象とした行事の企画などに努めてまいります。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルの策定をしております。今後、HPや個人面談、保護者会などで周知していきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職員間で役割を決めるなどして策定しています。定期的な訓練、研修を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時、定期的な面談の際に確認しています。医療的ケアが必要な児童については毎日看護師が対応しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用開始にあたって食事・食物アレルギーについてのアンケートを必ずおこなっております。アレルギーのある児童については、医師の指示書に基づく対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の策定をし、研修や訓練を定期的実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		連絡ノートなどで情報の周知をしています。	今後、通信や保護者会などでより緊密に連携がとれるよう努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々の振り返りミーティングで共有し、再発防止に向けた方策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内での虐待防止研修の実施をおこなっております。定期的にセルフチェックの確認なども実施して防止に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ない場合は組織的に決定し、保護者にも報告と説明をするようにしています。		